

女性の視点からの 災害対応について

令和2年8月
内閣府男女共同参画局

はじめに

女性の視点からの災害対応の必要性

- 災害は、自然現象（自然要因）と、それを受け止める側の社会の在り方（社会要因）によりその被害の大きさが決まると考えられており、被害を小さくするためには、**社会要因による災害時の困難を最小限にする取組が重要**
- 中でも、人口の半分は女性であり、**女性と男性が災害から受ける影響の違いなどに十分に配慮された女性の視点からの災害対応**が行われることが、災害に強い社会の実現にとって必須

【避難生活】

- 避難所の**管理責任者**（リーダーや副リーダー）に、**女性と男性の両方を配置**する

p 34 第2部「19 避難所の開設・運営」

- 「**避難所チェックシート**」を活用し、**女性と男性のニーズの違いにきめ細かく対応**できているか、**継続的に確認**する

p 43 第2部「26 避難所の生活環境の改善」

p 57-58 第3部「避難所チェックシート」

- **プライバシーの確保された間仕切り**等により世帯ごとのエリアを設ける

p 35 第2部「20 避難所の環境整備」



紙の間仕切りの例（坂茂建築設計提供）

【避難生活(続き)】

➤把握したニーズを基に、**物資調達・輸送調整等支援システム**を利用して女性用品、乳児用品等物資を調達する

- ・国が行う**プッシュ型支援**では、女性用品、おむつ、乳児用粉ミルク・液体ミルク、段ボールベッド、パーテーション等を供給

p 39-40 第2部「24 物資の供給」

➤ **性暴力・DV防止に関するポスター**等を避難所の見やすい場所に掲示する

p 32 第2部「18 女性に対する暴力の防止・安全確保」

その他、以下のページも参考にしてください
第2部

- ・6 物資の備蓄・調達・配布 (p17)
- ・27 子供や若年女性への支援 (p44)

備蓄チェックシート

▶ 備蓄の品目や数量について、女性と男性のニーズの違い、妊産婦や子育て家庭のニーズに配慮することが必要です。品目や数量については、当事者である女性が判断して、検討してください。
▶ 個人によってニーズは異なりますが、一人あたり最低3日間の量を備蓄することが望まれます。住民に対して、平常時から備えを促しましょう。

女性用品	<input type="checkbox"/> 生理用ナプキン（普通、長時間向け等） <input type="checkbox"/> おりものシート <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ホイッスル <input type="checkbox"/> 中身が見えないゴミ袋 <input type="checkbox"/> 女性用下着（各種サイズ）
若者（女性）	<input type="checkbox"/> 女性用下着（発達段階ごとに選んだサイズ、形態のもの） <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ホイッスル
妊産婦	<input type="checkbox"/> 妊産婦用下着 <input type="checkbox"/> 妊産婦用衣類 <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ホイッスル <input type="checkbox"/> 母乳パッド
乳幼児用品	<input type="checkbox"/> 粉ミルク（アレルギー用含む）又は液体ミルク <input type="checkbox"/> 枕やクッション（授乳室ごとに数個）、授乳用ケープ・バスタオル等（ストールでも可） <input type="checkbox"/> 乳幼児用飲料水（軟水） <input type="checkbox"/> 哺乳瓶・人工乳首（ニップル）・コップ（コップ授乳用に使い捨て紙コップも可）・湯沸かし器・洗剤・洗浄ブラシ等の器具、割りばし <input type="checkbox"/> 清潔な拭き拭き・洗濯用タオル（食用と別にする） <input type="checkbox"/> 離乳食（アレルギー対応食を含む） <input type="checkbox"/> 皿・スプーン <input type="checkbox"/> 乳幼児用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> おしりふき
介護用品	<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> 尿取りパッド（女性用、男性用） <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 介護食（おかゆ、とろみ食、とろみ剤） <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・据置式洋式トイレ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ナースコール <input type="checkbox"/> 歯磨き洗淨剤
外国人（女性）	<input type="checkbox"/> スプーン・フォーク <input type="checkbox"/> ストール <input type="checkbox"/> 宗教上の理由に関わらず食べられる食べ物
共通	<input type="checkbox"/> プライバシーが十分に確保される間仕切り・パーテーション <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための器具（段ボールベッド等）

備蓄チェックシート
(ガイドライン p56)

<参考となる資料>

避難所チェックシート（ガイドライン p57-58）

確認日： _____ 確認者： _____

① 避難所のスペース	
プライバシー	<input type="checkbox"/> 授乳室（椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース）がある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースがある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	<input type="checkbox"/> 適切な通路が確保され、段差が解消されている <input type="checkbox"/> 乳幼児のいる家庭用エリアがある <input type="checkbox"/> 介護・介助が必要な人のためのエリアがある <input type="checkbox"/> 単身女性や女性のための世帯用エリアがある <input type="checkbox"/> 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある <input type="checkbox"/> キッズスペース（子供たちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアがある <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッド等）が提供されている
トイレ	<input type="checkbox"/> 安全で行きやすい場所に設置されている <input type="checkbox"/> 女性トイレと男性トイレは離れた場所にある <input type="checkbox"/> 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め <input type="checkbox"/> 男性トイレ：尿取りパット等の配置 <input type="checkbox"/> 多目的トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 洋式トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている <input type="checkbox"/> トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている <input type="checkbox"/> トイレに錠がある
入浴施設	<input type="checkbox"/> 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある <input type="checkbox"/> 男女問わず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある
安全	<input type="checkbox"/> 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションが高い場合は個室の定期確認がされている
その他	<input type="checkbox"/> 各部屋に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている <input type="checkbox"/> 掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている

② 避難所の運営体制・運営ルール	
運営体制	<input type="checkbox"/> 管理責任者には男女両方を配置している <input type="checkbox"/> 自治的な運営組織の役員に女性が3割以上参画している <input type="checkbox"/> 運営組織に、多様な立場の代表が参画している ・介護・介助が必要な人 ・PTA ・障害者 ・中学生・高校生 ・乳幼児がいる家庭の人 ・外国人（居住者が多い場合）
運営ルール	<input type="checkbox"/> 避難者による食事作り・片付け、清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていない（男女を問わずできる人で分担） <input type="checkbox"/> 女性用品（生理用品、下着等）は女性担当者が配布を行っている
ニーズ把握	<input type="checkbox"/> 避難者から要望や困りごとを受けられる仕組み体制がある（トイレ等への意見箱の設置） <input type="checkbox"/> 女性や子育て・介護中の家庭の要望や困りごとを積極的に聞き取り、運営に反映させている <input type="checkbox"/> 避難者名簿を作成し情報管理が徹底されている（氏名、年齢、性別、健康状態、保育や介護を要する状況、避難場所、在宅・車中泊、外部からの問い合わせに対する情報の開示/非開示の可否） <input type="checkbox"/> 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談が実施されている
③ 暴力防止・安全の確保	
	<input type="checkbox"/> 配偶者からの暴力の被害者等の避難者名簿の作成と情報管理が徹底されている <input type="checkbox"/> 男女一緒に行う防犯体制がある <input type="checkbox"/> 就寝場所や女性専用スペース等へ巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 避難所の校庭など、敷地内に車中泊がある場合は、車中泊エリアの巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 暴力を許さない環境づくりが整備されている（啓発ポスターの掲示、相談カードの設置、照明の増設、女性や子供は2人以上で行動する、移動する際はまわりの人に声を掛け合う） <input type="checkbox"/> 防犯ブザーやホイッスルが配布されている ▶ 不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口、男性相談窓口が周知されている
④ 衛生環境・感染症予防	
	<input type="checkbox"/> 感染症予防（手洗い・消毒・マスク）対策がされている <input type="checkbox"/> トイレの使用法・汚物の処理などの衛生対策が行われている <input type="checkbox"/> トイレ専用の履物（スリッパ等）が使用されている <input type="checkbox"/> ゴミの収集や分別が徹底されている <input type="checkbox"/> 炊き出しを行う際は、調理の手順の表示や食品の管理、主要なアレルギーの有無の表示、残食の廃棄が徹底されている ▶ 育児用ミルク（粉ミルク/液体ミルク）を配布する際は、授乳アセスメントシートに基づき説明した後に配布している
⑤ 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援	
	<input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者情報も登録されている（特に要配慮者の把握のため） <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への食料・物資配布の時間や場所がある <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援情報等を伝達する体制が整っている <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者のニーズを把握する体制がある

➤ **性被害・性暴力防止ポスター及びチラシ**を作成、併せて**男女共同参画相談室のカード**を避難所等に配布

ポスター1000枚、チラシ7500部、カード1800枚

※ポスター及びチラシは、被災地のコンビニエンスストア（558店舗）配布分を含む

➤ 避難所の現状等を踏まえ、県地域振興局(リエゾン)に対し、女性更衣室の設置について各避難所への指導や支援を依頼

➤ 県警察本部と連携し、避難所巡回時に上記チラシの配布を依頼

避難所に更衣する場所がないので更衣室をダンボールで作ったところ上からぞかれた。その更衣室を使うときは見張りを立てるようにした（13～16歳女子）

避難所で成人男性からキスしてと言われた。トイレまでついてくる。着替えをのぞかれる。母親を含めて誰にも知られたくない。加害者が避難所にいらなくてほしい。（6～12歳女子）

男子が同じ避難所にいる男性にわいせつな行為をされた。ほかの男子数名も被害に遭った。家族が、避難所の宿直だった現場職員に相談し（中略）、加害者には避難所から出てもらうことにきまつたが、その前に加害者は避難所を出た。（6～12歳男子）

避難所で夜になると男の人が毛布に入ってくる。周りの女性も「若いからかたないね」と見て見ぬふりをして助けてくれない（20代女性）

授乳しているのを男性にじっと見られる。警察に連絡したら巡回の回数が増やされた。その後、授乳スペースが設けられた。（30代女性）

熊本地震の際も起きたことです！

避難所・避難先では、性被害・性暴力DVなどが発生するリスクが高まります

引用：災害時における性暴力（DV以外）の事例シート（阪神淡路大震災・東日本大震災）
黒日本大震災女性ネットワーク調査チーム 2015「東日本大震災」災害・復興における女性と子どもへの暴力に関する調査報告書

自分を大切にしてください

周囲の目と支えがたよりです

単独行動はしないようにしましょう！

見ないふり・知らないふりをせず助け合いましょう

性的な嫌がらせやいたづらなど尊厳を傷つける行為も犯罪です

ストレスをためず不安な気持ちも声に出しましょう

被害をうけたら相談を！

相談機関 ※相談は無料です。秘密は守られます ※受付時間は状況により変化する場合があります。ご了承ください

ゆあさいどくまもと（熊本県性暴力被害者のためのサポートセンター） ☎096-386-5555 24時間

熊本県警察本部（警察安全相談室） #9110 または ☎096-383-9110 ※最寄りの警察署または交番・駐在所でも受け付けています。

熊本県女性相談センター（DV相談専用電話） ☎096-381-7110 8:30～22:00（土日は9:00～）

DV相談^{プラス}（内閣府） ☎0120-279-889 24時間

この情報に関するお問い合わせ

くまもと県民交流館パレア 男女共同参画センター

TEL.096-355-1187(月～金 9:00～17:30)
FAX.096-355-4318(24時間受付)
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/danjo/>